

令和7年度 第2回大府市こども幸齢者交流センター等運営委員会会議録（要約）

開催日時 令和8年2月10日（火） 午後1時25分～2時50分
開催場所 大府市立共長こども交流センター
出席委員 名古屋学芸大学ヒューマンケア学部教授 加古 有子
大府市民生児童委員協議会（児童部会長） 森 雪枝
こども幸齢者交流センターファミリークラブ（大府） 加藤 雅博
小中学校校長会代表（大東小学校長） 上野 忍
欠席委員 大府市子ども会連絡協議会（副会長 石ヶ瀬学区）中村 未来
ゴールデンクラブおおぶ（副会長）大嶋 民江
事務局 健康未来部長、こども若者支援課長、指導保育士、こどもニュージェネ係長、こどもニュージェネ係主査、福祉部高齢障がい支援課長、大府こども幸齢者交流センター館長、神田こども幸齢者交流センター館長、神田こども幸齢者交流センター北崎分館長、北山こども幸齢者交流センター館長、東山こども幸齢者交流センター館長、共和西こども幸齢者交流センター館長、共長こども交流センター館長、吉田こども幸齢者交流センター館長、石ヶ瀬こども幸齢者交流センター館長、こどもステーション所長

1 開会あいさつ

2 報告事項

こども（幸齢者）交流センターの活動等について

(1) こども（幸齢者）交流センターにおける取組について【資料1】

ア 共長こども交流センター館長よりパワーポイントで説明

○質疑応答

（委員）

- ・令和7年4月にモルッククラブを立ち上げた。現在20～30名在籍。小さい子から大人、幸齢者へと広がり、交流できるものが増えると良いと思う。
- ・利用の仕方について要望。利用時間が厳しくなった。9時～、13時～しか入室できない。準備の時間もあるため、実際活動できる時間が減るのでどうにかならないか。

（こども若者支援課長）

勤務時間の関係があるため、市全体での検討が必要になる。

（健康未来部長）

勤務する職員側のことも考えなければいけない。今回の要望の内容について、今は返事ができない。基本的に利用時間を守っていただけると助かる。

（委員）

- ① 木育ひろばでは乳幼児から小学生までが利用するが、区分はしているのか。
- ② 大型遊具は危険が伴うが、どのように対応しているか。

(館長)

- ① 乳児コーナーを作ったり、カプラは広いスペースを確保して保育士が見守りながら安全配慮をしている。
- ② 大型遊具では保育士資格を持っている職員が見守っている。

(委員長)

木の玩具が高額のため、センターで遊べて良いという声がある。

木の玩具は寄付があると説明があったが、大府市が購入しているものもあるのか。

(館長)

センターで購入したものがある。少しずつそろえている。

(健康未来部長)

企業や個人の方から寄付をいただく。子育て世帯の方に支援をしたいという声があった時に保育園やセンターで要望の玩具を揃えている。

(2) 神田こども幸齢者交流センター北崎分館・共和西こども幸齢者交流センターの活動状況について【資料2】

ア 共和西こども幸齢者交流センター館長よりパワーポイントで説明

○質疑応答

(委員)

こどもの意見を取り入れて漫画を購入してもらい喜んだと思う。

(委員)

薬膳講座は実際調理したのか。子育て世代の方も参加したのか。

(館長)

あずき薬局の院長が講師をしてくれた。調理はしなかったが、講師が薬膳チャイを作り提供した。参加者はこどもを持つ親や大病した方が参加していた。

(委員)

写真から中高校生が見当たらない。中高校生の居場所があると良いと感じた。その年代が足を運べるような取り組みがあるのか。

(館長)

高校生の来館は少ないが、中学生は来館し、遊戯室で遊んでいる。居場所としては成り立っている。

(委員)

中高校生は図書館の利用も少ない。塾や部活など違う場所で過ごしていると良い。インターネットでの予約とは？

(館長)

webでイベントの紹介やPRをしている。インスタにもあげている。

3 協議事項

こども部会について 【資料3-1】【資料3-2】【資料3-3】【資料3-4】

ア 北山こども幸齢者交流センター館長よりパワーポイントで説明

○質疑応答

(委員)

スマホのルール作りは難しい。安全のために持たせる保護者もいる。今の生活を見ると使いたすとずっと使い続けてしまうのではないか。こどもたちが集まるセンターは使わずに過ごす場所でいてほしい。

こどもの意見は聴く。しかし、今後も継続検討でいてほしい。

(委員)

登校の集合場所でこどもたちと話をする機会があるが、緊急事態のため、スマホを持っている子がいる。ルールをしっかりとすれば学校にも持って行って良いのではと思う。

(委員)

盗難・破損等のトラブルの可能性もある。自己責任と伝えている。家庭独自で判断して持たせる家庭もあるが、「持ってきてよい」とはしていない。

(委員)

菓子について、食べた菓子のゴミが捨てられていることはあるか。

(館長)

ごみ問題は課題となっている。菓子のゴミを持ち帰る子もいる。捨てた子には持ち帰るよう繰り返し声をかけている。

(委員)

菓子を食べると昼、家に帰らなくてよいというのはどういうことか。

(委員)

昼ごはんとして菓子を食べるのではなく、菓子を食べてお腹を持たせているのではないか。大人が考える食事とは違ってきている。

どこまでがセンターの責任なのかが難しい。学校でも文科省から登下校中のことや万引きなど学校外のことは対応しなくて良いとされているが、学校に苦情・連絡が入る。対応しないという権限はあるが「しない」とはできない。

(委員)

「こども部会」自体が素晴らしいと思った。「～したい」という子の参加を増やし、意見交換ができると良い。

(委員)

スマホを制限する自治体がある。なぜ制限したのか、こどもと調べいろいろな考え方があることを知ってもらい、それを踏まえて話し合いをしていくと良い。

様々な意見を取り入れながらこども部会を運営してほしい。

4 その他

令和8年度第1回こども幸齢者交流センター等運営委員会は、令和8年6月29日（月）の午後1時半から、吉田こども幸齢者交流センターで開催予定。